

ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO

2027年3月期
第2四半期（中間期）
決算IR資料

みずほリース株式会社

2026年11月6日

2026年度 第2四半期（中間期）ハイライト

上期業績の進捗を踏まえ通期業績予想を上方修正、中間配当・年間配当予想についても引き上げ

親会社株主純利益／配当

2026年度 2Q実績

426億円（前年比＋135億円）
（業績予想進捗率82%）

2026年度 通期業績予想

修正後

520億円 → **570億円**

2026年度 配当予想

修正後

中間配当　26円 → **29円**

年間配当　52円 → **58円**

決算ハイライト

- 資金原価および販管費の増加を差引利益の伸長により打ち返し
- みずほキャピタルに係る負ののれんを96億円計上、親会社株主純利益は426億円と中間期の最高益を更新
- 当該要因を除いても通期業績予想に対する進捗率は75%と好調に推移
- 金利環境等の不確実性は残るものの、上期業績を反映し、通期業績予想を570億円に上方修正
- あわせて中間配当・年間配当予想についても引き上げ

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

目 次

01　2026年度 第2四半期（中間期）の状況

02　事業本部別業績・中計戦略の進捗

03　業績予想・株主還元

04　中期経営計画2028（再掲）

05　Appendix

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

01　2026年度 第2四半期（中間期）の状況

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

01 2026年度 第2四半期（中間期）の状況

- 資産売却益等もあり差引利益が伸長し資金原価や販管費の上昇を打ち返し、営業利益は305億円（前年比＋70億円）
- 持分法投資損益にてみずほキャピタルの負ののれん計上、経常利益は532億円（同 +181億円）
- 好調な上期決算を受け主要財務指標は何れも向上、種類株による第三者割当増資も完了し自己資本比率の上昇に寄与

PL概要 （億円）	24年度 2Q	25年度 2Q	26年度 2Q	前年比	前年比増減率
1 差引利益	538	585	**736**	**+151**	**+26%**
2 （資金原価）	△118	△159	**△207**	**△48**	**+30%**
3 売上総利益	420	427	**529**	**+102**	**+24%**
4 （販管費）	△178	△192	**△224**	**△32**	**+16%**
5 営業利益	242	235	**305**	**+70**	**+30%**
6 （持分法投資損益）	117	124	**204**	**+80**	**+64%**
7 経常利益	348	351	**532**	**+181**	**+51%**
8 （特別損益）	1	37	**10**	**△27**	**△74%**
9 親会社株主純利益	256	291	**426**	**+135**	**+47%**

BS概要	24/9末	25/9末	26/9末		
10 営業資産残高	30,746	32,900	**33,467**	**+567**	**+2%**
11 自己資本	3,753	4,007	**5,055**	**+1,048**	**+26%**

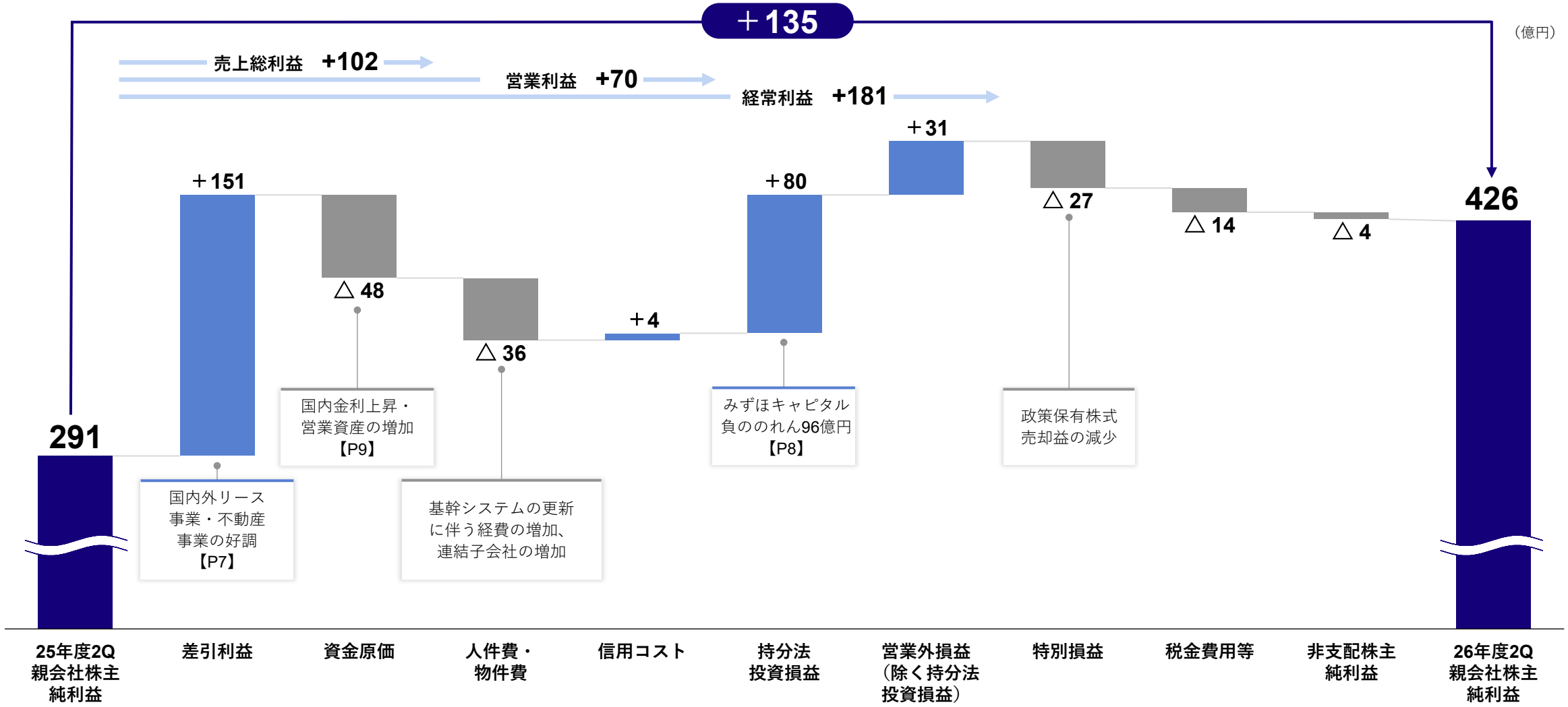
主要財務指標	24年度 2Q	25年度 2Q	26年度 2Q	
12 売上総利益率（売上総利益÷営業資産）*	2.83%	2.60%	**3.13%**	**+0.53pt**
13 ROA（経常利益÷総資産）*	2.0%	1.8%	**2.5%**	**+0.7pt**
14 ROE（当期純利益÷自己資本）*	15.0%	14.8%	**18.3%**	**+3.5pt**
15 自己資本比率	10.3%	10.1%	**12.0%**	**+1.9pt**

＊ 残高基準は期首期末平均残高

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

01 親会社株主純利益の増減要因

● 各本部の利益伸長により各段階利益はいずれも前年比増、親会社株主純利益は426億円で着地



© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

01 事業本部別の売上総利益及び営業資産残高、契約実行高の状況

- 国内3本部は円金利の上昇による資金原価増を打ち返し売上総利益は前年比増加
- 国際事業本部、インベストメント本部についてもインドのリース事業の好業績や保有航空機の売却等により増益
- 契約実行高については、インドを中心に国際事業本部にて増加も、営業本部・不動産本部の前年大口案件の剥落により減少

（億円）	売上総利益			営業資産（末残）			契約実行高		
	25年度 2Q実績	26年度 2Q実績	前年比	25年 9月末	26年 9月末	前年比	25年度 2Q実績	26年度 2Q実績	前年比
全社　計	**427**	**529**	**+102**	**32,900**	**33,467**	**+567**	**9,401**	**8,768**	**△633**
営業本部	184	**208**	**+24**	14,644	**14,862**	**+218**	5,572	**4,849**	**△723**
不動産本部	145	**170**	**+25**	12,426	**12,446**	**+20**	2,571	**2,305**	**△266**
環境エネルギー本部	12	**28**	**+16**	1,397	**1,883**	**+486**	81	**7**	**△74**
国際事業本部	53	**78**	**+25**	1,039	**1,423**	**+384**	816	**1,432**	**+616**
インベストメント本部	35	**48**	**+13**	3,306	**2,753**	**△553**	349	**164**	**△185**

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

01 持分法投資損益の状況

- 不動産本部　：日鉄興和不動産にて前年計上の大型案件の売却益が剥落、下期回復見込み
- 国際事業本部：みずほ丸紅リースや米国ＰＬＭのリース・レンタル事業がけん引
- その他　　：みずほキャピタルの自己株式取得に伴う負ののれん96億円計上

（億円）	24年度 2Q実績	25年度 2Q実績	26年度 2Q実績	前年比
全社　計	117	124	204	+80
営業本部	67	18	17	△1
不動産本部	28	55	24	△31
環境エネルギー本部	0	0	0	+0
国際事業本部	15	17	30	+13
インベストメント本部	6	33	35	+2
その他	1	1	98	+97

みずほキャピタル

- 持分法関連会社であるみずほキャピタルが少数株主に対し、自己株式取得を実施
- 結果として、当社持分が増加（15.0%→35.5%）し、純資産の洗替えにより負ののれん発生（＋96億円）

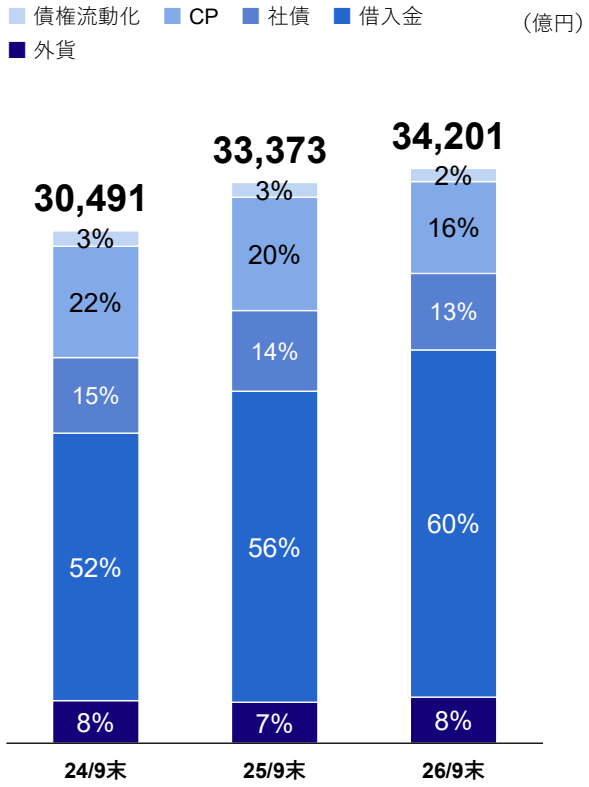
（億円）	実施前	実施後	増減
みずほキャピタル 自己資本①	776	599	△177
当社議決権割合②	15.0%	35.5%	+20.5pt
みずほキャピタル株式（連結簿価）①×②	116	213	+96

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

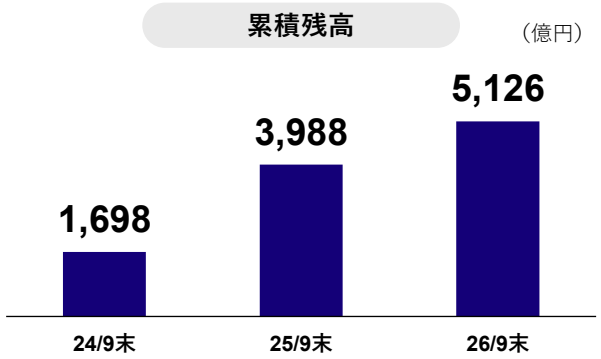
01 資金調達の状況

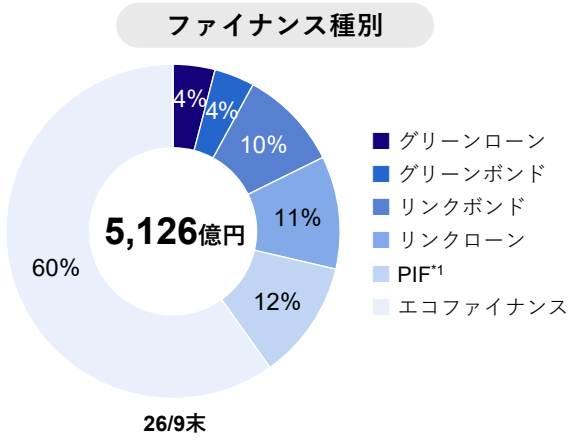
- 有利子負債残高の増加とともに借入金割合を増やし調達構造を安定化、サステナブルファイナンス等、調達手段の多様化も継続
- 国内金利の上昇が継続しており資金コスト/率は増加傾向

有利子負債残高



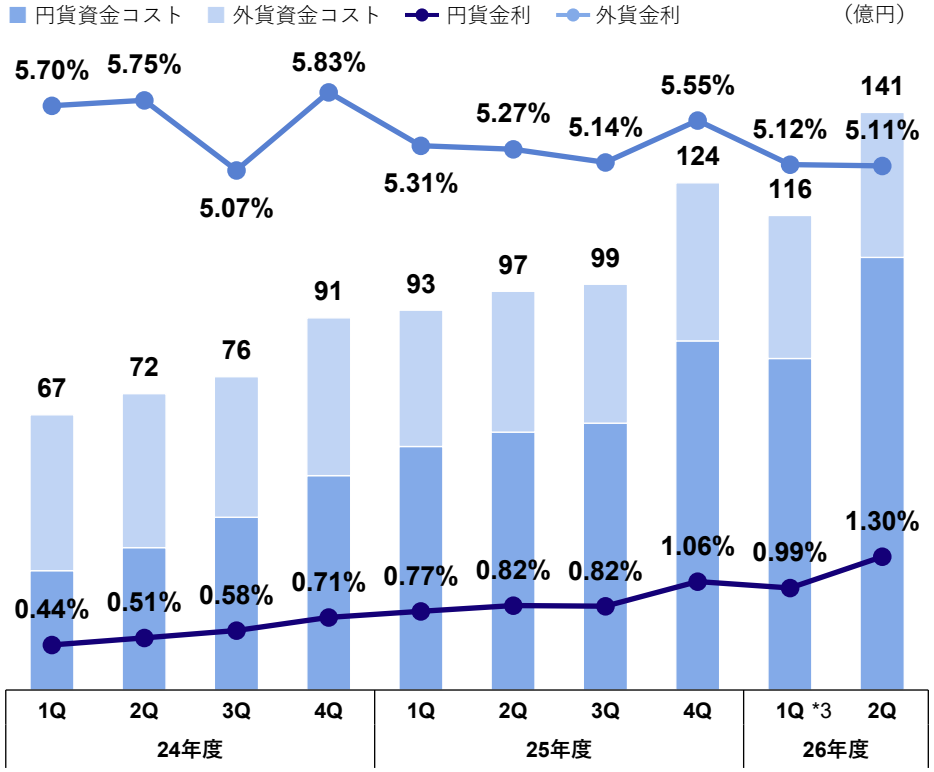
サステナブルファイナンス





*1：ポジティブ・インパクト・ファイナンス

資金コスト/率*2の四半期推移



*2：資金コスト率＝資金コスト（資金原価＋支払利息）÷有利子負債残高平残
*3：26年度1Qに円金利のSWAP解約益等10億円計上

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

02 事業本部別業績・中計戦略の進捗

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

02 事業本部別 収益及び資産残高、ROAの状況

- 営業本部　：国内リース事業が堅調、昨年子会社化したピー・シー・エスの収益貢献もあり前年比増
- 不動産本部　：1Qの大口売却益計上や継続的な案件獲得、アライアンス効果により事業本部収益は前年比増加
- 環境エネルギー本部　：ジャパン・インフラファンド投資法人を連結子会社化、蓄電池事業の進展等あり
- 国際事業本部　：Mizuho RA Leasingやみずほ丸紅リースが事業好調
- インベストメント本部　：航空機の機体売却益が事業本部収益をけん引

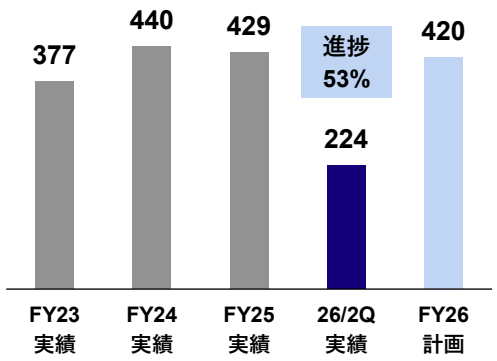
（億円）	事業本部収益*1				事業本部資産（平残）*2,3				事業本部収益ROA			
	26年度 計画	26年度 2Q実績	計画 進捗率	前年比	26年度 計画	26年度 2Q実績	年度 計画比	前年比	26年度 計画	26年度 2Q実績	年度 計画比	前年比
営業本部	420	**224**	**53%**	**+22**	15,600	**15,655**	**+55**	**+455**	2.7%	**2.9%**	**+0.2pt**	**+0.2pt**
不動産本部	370	**222**	**60%**	**+13**	15,600	**14,716**	**△884**	**+849**	2.4%	**3.0%**	**+0.6pt**	**+0.0pt**
環境エネルギー本部	30	**32**	**107%**	**+17**	2,360	**2,177**	**△183**	**+591**	1.3%	**2.9%**	**+1.6pt**	**+1.0pt**
国際事業本部	180	**113**	**63%**	**+39**	1,800	**1,887**	**+87**	**+330**	10.0%	**12.0%**	**+2.0pt**	**+2.5pt**
インベストメント本部	170	**109**	**64%**	**+32**	4,200	**3,748**	**△452**	**△517**	4.0%	**5.8%**	**+1.8pt**	**+2.2pt**
事業本部　計	**1,170**	**700**	**60%**	**+123**	**39,560**	**38,182**	**△1,378**	**+1,707**	**3.0%**	**3.7%**	**+0.7pt**	**+0.5pt**

*1：売上総利益＋持分法投資損益＋事業本部ビジネスに関連する営業外損益等
*2：営業資産＋持分法連結簿価＋事業本部ビジネスに関連する非営業資産
*3：資産（平残）は期首期末残高の平残

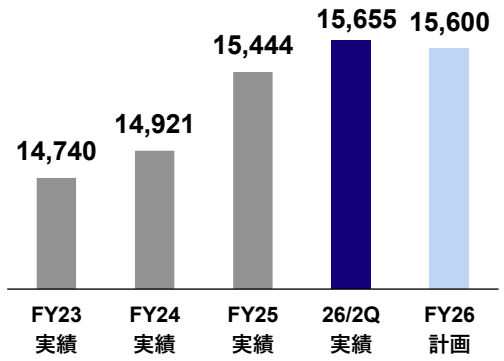
© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

（億円）	25年度 2Q実績	26年度 2Q実績	前年比	進捗率/ 年度計画比
事業本部収益 *1	202	**224**	**+22**	**53%**
売上総利益	184	**208**	**+24**	**—**
持分法投資損益	18	**17**	**△1**	**—**
その他	0	**0**	**+0**	**—**
事業本部資産（平残） *2,3	15,200	**15,655**	**+455**	**+55**
事業本部ROA	2.7%	**2.9%**	**+0.2pt**	**+0.2pt**
売上総利益率	2.5%	**2.8%**	**+0.3pt**	—

事業本部収益推移



事業本部資産（平残）推移



*1：売上総利益＋持分法投資損益＋事業本部ビジネスに関連する営業外損益等
*2：営業資産＋持分法連結簿価＋事業本部ビジネスに関連する非営業資産
*3：資産（平残）は期首期末残高の平残

中計戦略の進捗状況

ミドルマーケット

- 〈みずほ〉連携を深化させ、ミドルマーケットの事業承継案件等の取組を推進

モビリティ・レンタル

- ピー・シー・エス、レンタルシステム等のPMIは計画通り進捗
  フォークリフト等、各社商材や顧客基盤等のビジネス連携が拡大

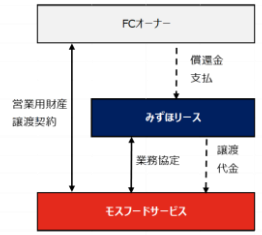
サーキュラーエコノミー

- TREホールディングスの出資比率を引上げるなど連携を強化し、協働プロジェクトを推進

トピックス

モスFCオーナー向け新サービスを提供

- 株式会社モスフードサービスと業務協定を締結
- FCオーナーとして独立予定の社員向けに、店舗買取資金の支援を開始
- FCネットワークの拡大と事業成長を支援



使用済みPC約4万台を再資源化

- エムエル・ITADソリューションによるみずほ銀行の使用済みPC約4万台の回収・再資源化

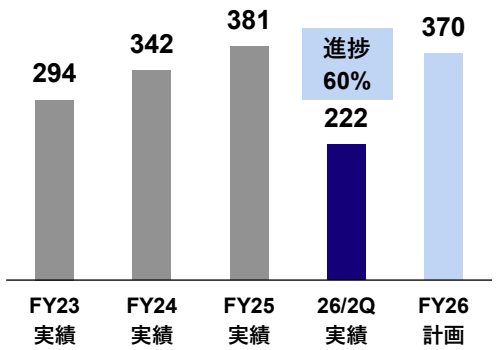


© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

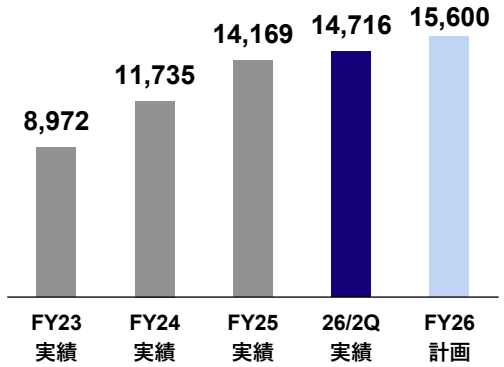
02 不動産本部

（億円）	25年度 2Q実績	26年度 2Q実績	前年比	進捗率/ 年度計画比
事業本部収益 *1	209	**222**	**+13**	**60%**
売上総利益	145	**170**	**+25**	—
持分法投資損益	55	**24**	**△31**	—
その他	9	**27**	**+18**	—
事業本部資産（平残） *2,3	13,867	**14,716**	**+849**	**△884**
事業本部ROA	3.0%	**3.0%**	**+0.0pt**	**+0.6pt**
売上総利益率	2.3%	**2.7%**	**+0.4pt**	—

事業本部収益推移



事業本部資産（平残）推移



*1：売上総利益＋持分法投資損益＋事業本部ビジネスに関連する営業外損益等
*2：営業資産＋持分法連結簿価＋事業本部ビジネスに関連する非営業資産
*3：資産（平残）は期首期末残高の平残

中計戦略の進捗状況

投資・開発ビジネス

- 厳選した物件取得を遂行し、累計投資額は計画通りに進捗
- データセンター等新たな投資機会を探索

アライアンス強化

- 日鉄興和不動産やククレブ・アドバイザーズ等のアライアンスパートナーとの連携深化を通じバリューチェーンを拡充
- スターアジアグループの関連会社化後のPMIが進展

トピックス

「MipLa札幌駅前」が業界誌に掲載

- 自社ブランドのオフィスビル「MipLa札幌駅前」が建築業界誌「近代建築」（2026年10月号）に掲載



金利・インフレに強い資産へ投資推進

- ダイナミックプライシングによる変動賃料が見込めるホテルや、需要が底堅い賃貸住宅への投資等を推進
- 金利上昇・インフレ環境下における収益性向上を期待



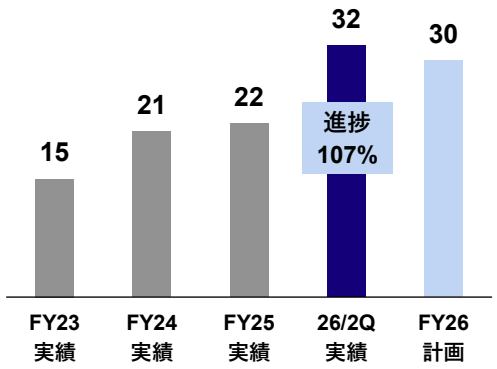
Premium MONday 大阪心斎橋
(株式会社JHAT運営)

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

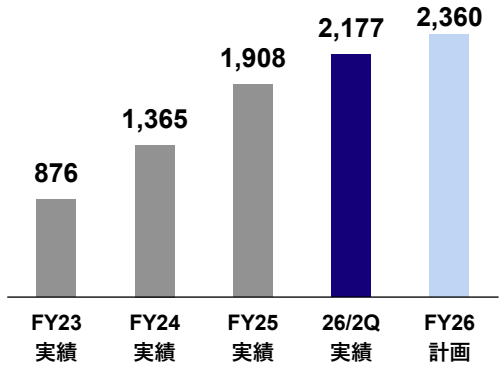
02 環境エネルギー本部

（億円）	25年度 2Q実績	26年度 2Q実績	前年比	進捗率/ 年度計画比
事業本部収益 *1	15	**32**	**+17**	**107%**
売上総利益	12	**28**	**+16**	—
持分法投資損益	0	**0**	**+0**	—
その他	3	**4**	**+1**	—
事業本部資産（平残） *2,3	1,586	**2,177**	**+591**	**△183**
事業本部ROA	1.9%	**2.9%**	**+1.0pt**	**+1.6pt**
売上総利益率	1.7%	**2.8%**	**+1.1pt**	—

事業本部収益推移



事業本部資産（平残）推移



*1：売上総利益＋持分法投資損益＋事業本部ビジネスに関連する営業外損益等
*2：営業資産＋持分法連結簿価＋事業本部ビジネスに関連する非営業資産
*3：資産（平残）は期首期末残高の平残

中計戦略の進捗状況

バリューアップ

- FIP転換・併設型蓄電池の導入等のバリューアップ施策を着実に推進

環境価値

- 事業規模拡大に向け新規販売先と合意するなど、取組が進展

周辺事業の拡大

- ジャパン・インフラファンド・アドバイザーズのノウハウも活用し、周辺事業の拡大を企図

トピックス

系統用蓄電池案件への事業参画

- 中国電力・中電工・日本政策投資銀行と共同でSPCを設立
- 山口県下松市にて系統用蓄電池事業（下松蓄電所2号*）を推進（2029年度稼働予定）

*蓄電池出力／容量：約32MW／96MWh

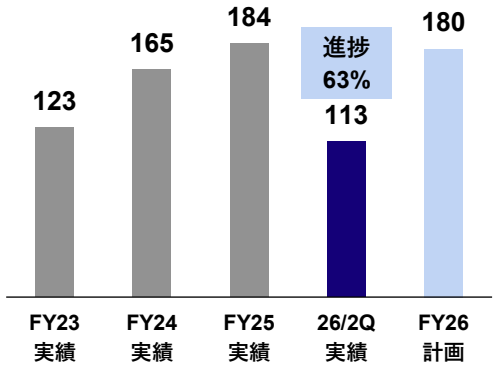


© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

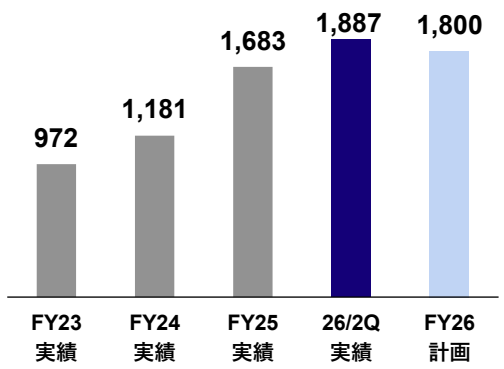
02 国際事業本部

（億円）	25年度 2Q実績	26年度 2Q実績	前年比	進捗率/ 年度計画比
事業本部収益 *1	74	**113**	**+39**	**63%**
売上総利益	53	**78**	**+25**	—
持分法投資損益	17	**30**	**+13**	—
その他	4	**5**	**+1**	—
事業本部資産（平残） *2,3	1,557	**1,887**	**+330**	**+87**
事業本部ROA	9.5%	**12.0%**	**+2.5pt**	**+2.0pt**
売上総利益率	10.2%	**11.7%**	**+1.5pt**	—

事業本部収益推移



事業本部資産（平残）推移



*1：売上総利益＋持分法投資損益＋事業本部ビジネスに関連する営業外損益等
*2：営業資産＋持分法連結簿価＋事業本部ビジネスに関連する非営業資産
*3：資産（平残）は期首期末残高の平残

中計戦略の進捗状況

丸紅連携

- 上半期実績でFY25通年の成約件数を超過し、連携実績は順調に拡大

インド戦略

- メイク・イン・インディア政策や外資企業向け大規模オフィス設立促進政策が牽引する製造設備・オフィス関連の資金需要を的確に捕捉

インオーガニック

- 米州・豪州・インド等注力市場において調査・交渉を推進

トピックス

インド連結子会社の出資比率を引上げ

- Mizuho RA Leasingの株式6.2%を、既存株主から追加取得し、出資比率を93.8%へ引上げ
- 連結収益の取り込み拡大により、インド事業を収益の柱へと強化



海外丸紅グループ会社向けリースを本格化

- タイをはじめ、海外丸紅グループ会社への設備リースを本格化し、丸紅連携による新たな収益機会を創出



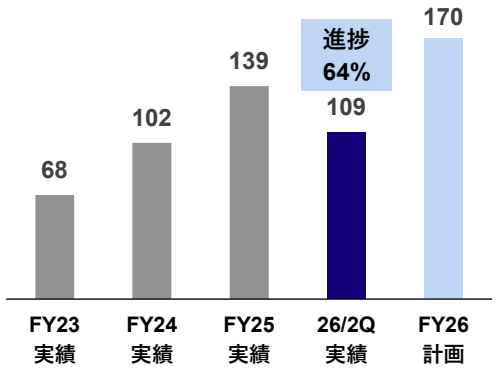
新設物流倉庫向けラック

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

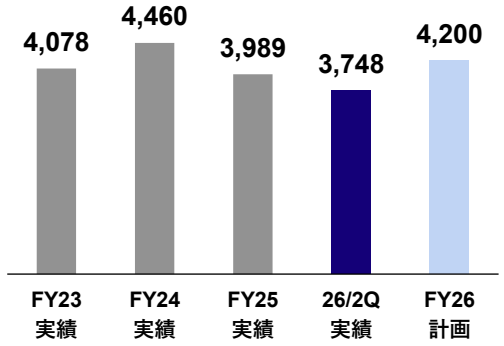
02 インベストメント本部

（億円）	25年度 2Q実績	26年度 2Q実績	前年比	進捗率/ 年度計画比
事業本部収益 *1	77	**109**	**+32**	**64%**
売上総利益	35	**48**	**+13**	—
持分法投資損益	33	**35**	**+2**	—
その他	10	**26**	**+16**	—
事業本部資産（平残） *2,3	4,265	**3,748**	**△517**	**△452**
事業本部ROA	3.6%	**5.8%**	**+2.2pt**	**+1.8pt**
売上総利益率	2.1%	**3.5%**	**+1.4pt**	—

事業本部収益推移



事業本部資産（平残）推移



*1：売上総利益＋持分法投資損益＋事業本部ビジネスに関連する営業外損益等
*2：営業資産＋持分法連結簿価＋事業本部ビジネスに関連する非営業資産
*3：資産（平残）は期首期末残高の平残

中計戦略の進捗状況

海外インフラ投資

- 丸紅との連携案件を軸に、パイプラインが順調に積み上がり、実行に向けた検討を加速

投資家ビジネス

- 〈みずほ〉 連携を通じ、JOLCO/JOL案件の組成・販売を加速

航空機ビジネス

- 時機を捉えた機体売却によりキャピタルゲインを確保し、事業ポートフォリオ変革に寄与

トピックス

独「再エネ×リース」事業へ出資参画

- ドイツのルーフトップ太陽光発電設備リース事業への出資参画
- ポルトガルTotalEnergies案件に続く、MMCP（丸紅系）との2件目の協調投資
- 海外再エネ・インフラ事業ポートフォリオの拡大を推進



© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

02 インオーガニック戦略の進捗

- 資本業務提携先TREホールディングスや、連結子会社Mizuho RA Leasingの株式追加取得を実施
- 既存投資先のPMIも順調に進捗、グループ会社として事業連携を加速、シナジー創出のフェーズへ

2026年度の新規投資

TREホールディングス（証券コード：9247）の株式追加取得完了（2026年5月）

- 2025年10月に締結した同社との資本業務提携に基づき、同社株式を追加取得し、議決権比率を10.06%まで引き上げ
- 同社との戦略的パートナーシップをもとに、IT機器や産業資産の回収、データ消去、リユース、リサイクルまでを一体化したバリューチェーンを構築し、新たな価値創造を推進

Mizuho RA Leasing 株式の追加取得（2026年6月）

- 現地経営陣の株式一部売却の意向に応え、同社株式 6.2%を追加取得し、出資比率を93.8％まで引き上げ
- 連結収益の取り込み拡大により、インド事業を収益の柱へと強化
  ー国際事業本部収益の57％の規模に成長（2026年9月末時点）
- インドにおける戦略的プラットフォームとして、同社を起点としたインオーガニック戦略を引き続き推進

既存投資先のPMI進捗

ピー・シー・エスとの事業シナジー創出

- 連結子会社として収益貢献本格化
- レンタル、保守、リユース、中古流通までを包含するレンタルプラットフォームを構築、安定的かつ非金利型の収益機会を拡大

ジャパン・インフラファンド投資法人の完全子会社化

- TOBにて取得した同投資法人の完全子会社化が完了
- FIP転換・併設型蓄電池の導入等のバリューアップ施策を推進

エムエル・ITADソリューションのビジネス拡大

- みずほ銀行の使用済み PC 約 4万台について、ITADサービスを通じた国内再資源化処理を実施
- 環境配慮と経済合理性を両立する資源循環型モデルの提供を通じて、サーキュラーエコノミーの実現を目指す

スターアジアグループとの事業連携深化

- エムエル・エステートとスターアジアグループの共同ファンドを設立
- 同社との戦略的パートナーシップにより、資産回転型ビジネスへのシフトを加速

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

02 経営基盤強化のための取組事例

人的資本強化

事業ポートフォリオ変革を支える人財育成の強化

- 各部門の管理職が社員の育成方針を複眼的に議論する「人財開発会議」を導入し、社員の成長と管理職の育成力向上を支援
- 全社・部門別に社員に期待する能力・スキルを体系化した「求める人財像」を策定し、人財育成と自律的なキャリア形成を促進
- 次世代リーダー向け選抜型育成プログラムを継続的に実施し、役員との対話や越境体験を通じて経営視点・リーダーシップ・マネジメント力を強化

デジタル・生産性向上

デジタル活用と人財育成による業務変革推進

- AI活用・人財育成・組織横断連携・データ整備・AIガバナンスの5領域に取り組み、生産性向上と業務変革を推進
- デジタル人財を「ベーシック」「アドバンス」「エキスパート」の3層で定義し、生成AI活用やAIエージェント開発研修を実施



全社員向け 生成AI活用研修

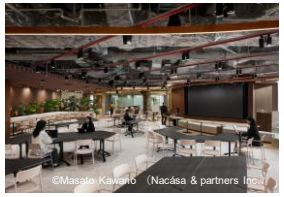


AIエージェント開発研修

企業カルチャー変革

26年2月の本社移転を起点とした変革の加速

- **ACTION! IT'S MY TURN!**というコンセプトのもと、仕事の質の向上や部門を越えた協働を促し、自律的な強い個と変化に強い組織への進化に取り組む
- 共用スペース「HIROBA」を活用し、タウンホールミーティングやファミリーDAY等を通じて、経営層と社員の対話・交流を促進
- 新本社が第39回日経ニューオフィス賞「ニューオフィス推進賞」および「クリエイティブ・オフィス賞」を受賞
- 統合報告書に企業カルチャー座談会や新本社特集を掲載し、対外発信を強化



HIROBA



IKOI Cafe



統合報告書

リスクマネジメント高度化

経営基盤を支えるリスク管理の強化

- 事業投資案件におけるリスク評価・検証プロセスを高度化
- 投資案件の特性を踏まえたモニタリング手法の見直しを推進
- サイバーセキュリティ・BCP対応の実効性向上に向け、管理態勢および訓練を強化

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

03 業績予想・株主還元

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

03 業績予想ならびに配当予想の修正（増配）

- 通期業績予想に対する上期の進捗率は各段階利益ともに順調に推移
- 金利環境等の不確実性は残るものの、差引利益・持分法投資損益の推移等を踏まえ、通期業績予想を上方修正
- 「業績に応じた配当を実施する」という株主還元の基本方針に基づき、中間配当・年間配当予想についても見直し

（億円）	2026年度 2Q実績	2026年度予想 当初公表*1①	2Q進捗率	2026年度予想 上方修正後*2②	増減額 ②－①	2025年度実績（ご参考）
営業利益	305	400	76%	450	+50	447
経常利益	532	670	79%	720	+50	650
親会社株主純利益	426	520	82%	570	+50	476
年間配当金		52円		58円	+6円	51円
中間配当金		26円		29円	+3円	25円
期末配当金		26円		29円	+3円	26円
配当性向		30.4%		30.2%	△0.2pt	30.0%

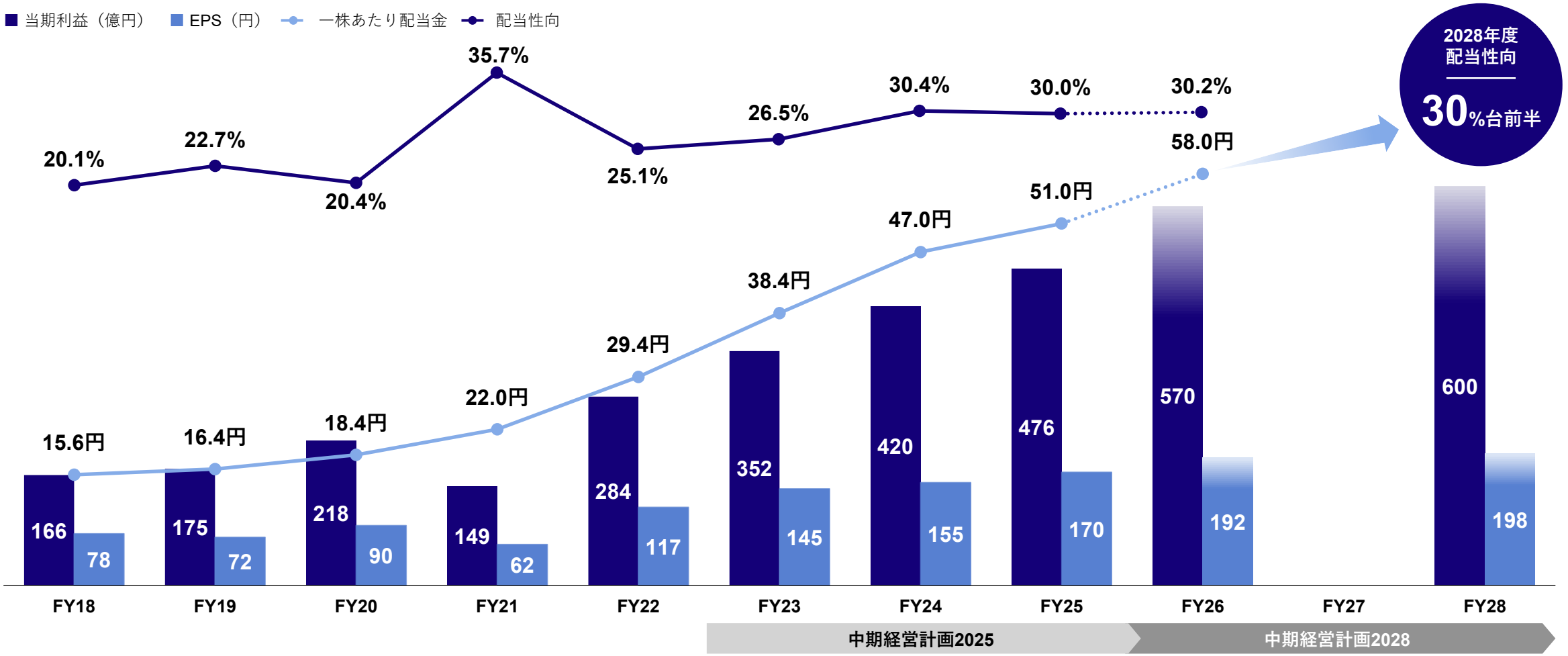
*1：2026年5月14日公表
*2：2026年11月6日公表

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

03 株主還元方針

- 配当性向は30％台前半とし「収益力の向上を図りつつ、業績に応じた配当を実施する」基本方針を継続

当期利益と一株あたり配当金の推移（FY23以前は株式分割後の換算値、FY26 以降は種類株増資勘案）



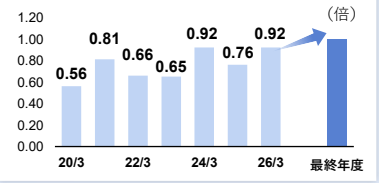
© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

03 企業価値向上に向けた取り組み（資本コストや株価を意識した経営の実現）

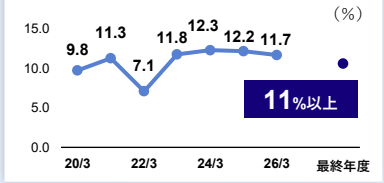
● ROA改善に注力するとともに、 成長期待醸成により、PBR/PERの維持・向上を目指す

現状分析（ロジックツリー）

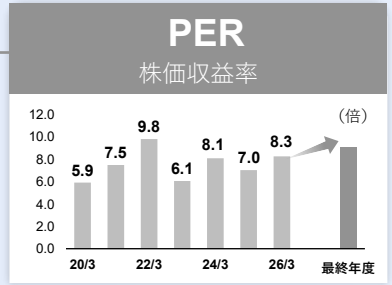
PBR 株価純資産倍率



ROE 自己資本利益率



PER 株価収益率

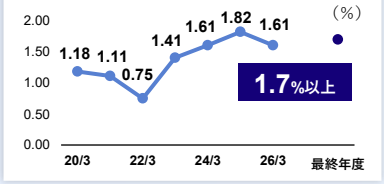


＝

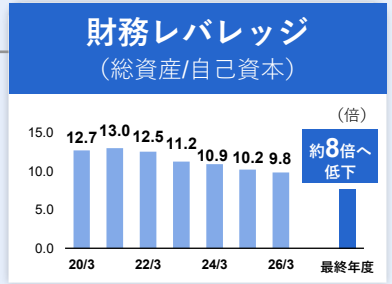
$$\frac{1}{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}}$$

（広義の資本コスト）

ROA 総資産利益率



財務レバレッジ（総資産/自己資本）



ROA改善 ／ 生産性向上

事業ポートフォリオ変革

- アセット有効活用
- フィービジネス強化
- 国際事業拡大
- ミドルマーケットの成長支援

変化に強い経営基盤の構築

- 人的資本強化
- 企業カルチャー変革
- デジタルを活用した生産性向上
- リスクマネジメント高度化

PER向上 ／ 成長期待

- みずほグループ顧客基盤の更なる活用
- 丸紅との国内外ビジネス強化
- 新規事業分野強化
- IR活動強化

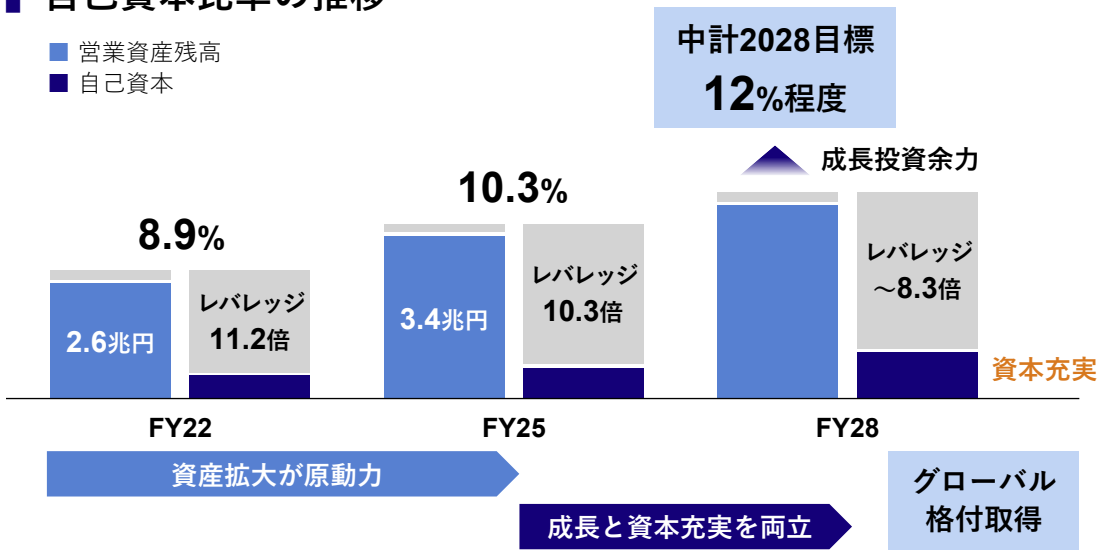
© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

03 資本政策（自己資本の充実・第三者割当増資）

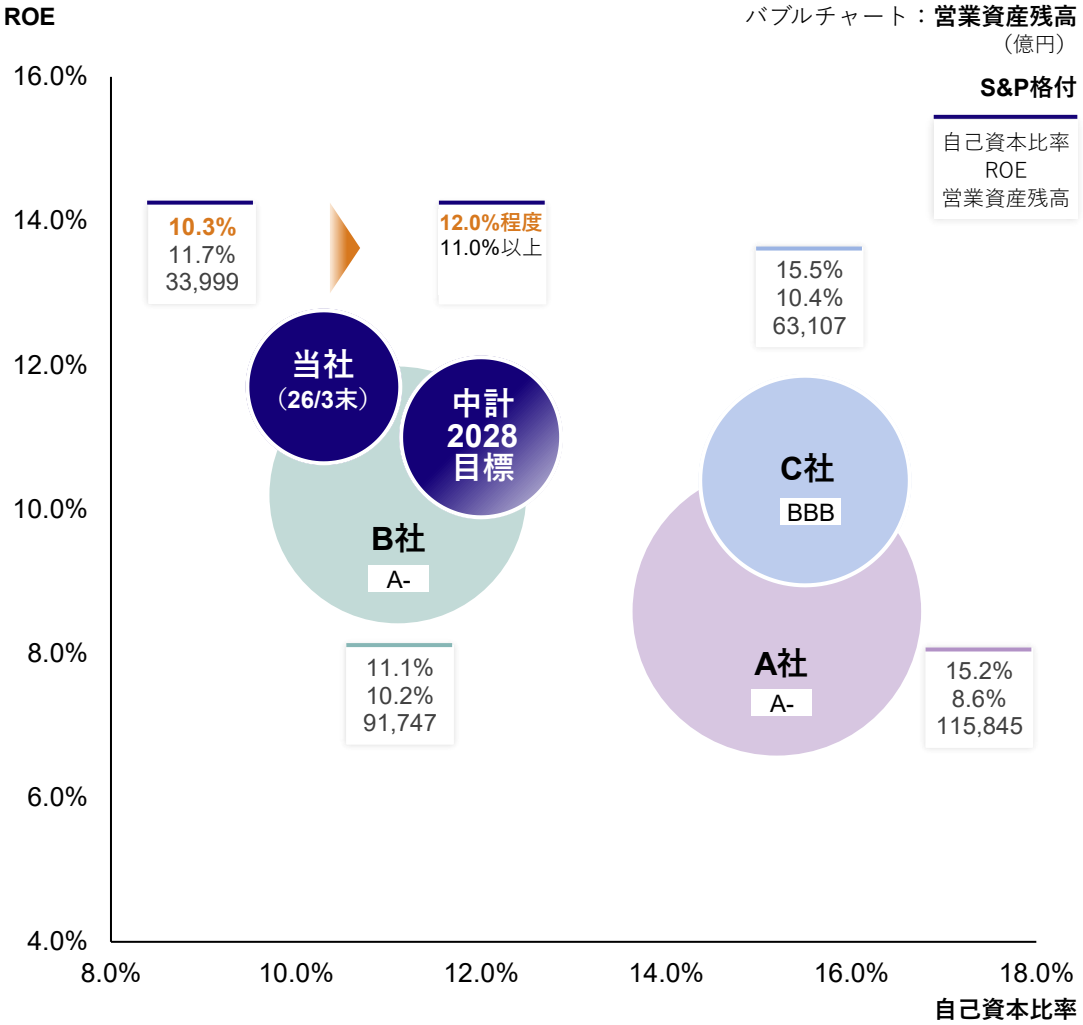
新たに自己資本比率を財務目標に設定

- **中計2025まで**（成長ステージ）
  レバレッジを活用した資産拡大により成長を実現
- **中計2028**（リスクテイク力・財務基盤の強化ステージ）
  自己資本の充実により、持続的な成長投資の余力を確保
- みずほFGを引受先とする種類株による第三者割当増資が完了
  （払込期日：2026年7月1日、発行価額：総額 461億円）

自己資本比率の推移



財務健全性と収益性（26/3末ならびに中計2028目標）



© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

04 中期経営計画2028（再掲）

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

04 中期経営計画2028の位置づけ

- 目指す姿の実現に向け「変革を加速すると共に、未来の成長を確かなものにする」3年間として位置づけ
  – 事業ポートフォリオの変革を加速するとともに、「変化に強い経営基盤」の構築に取組む

フェーズ 1 → フェーズ 2

第6次中期経営計画（2019-2022）

興銀リースから
みずほリースへ

最終年度前に概ね
主要目標を達成

- 〈みずほ〉連携を中心にビジネス領域拡大
- 新たなビジネス創出に取り組み

中期経営計画2025（2023-2025）

変革に挑戦する
3年間

財務目標は
一年前倒しで達成

- 事業ポートフォリオの変革の着実な進展
- 経営基盤強化へ積極投資
- カルチャー変革

中期経営計画2028（2026-2028）

変革を加速すると共に、未来の
成長を確かなものにする3年間

事業ポートフォリオの変革

- バリューチェーンを拡大
- ビジネスモデル進化、事業領域拡大、新たなビジネス創出によるROA向上

経営基盤強化

- 人財、IT等への積極投資により、持続的成長を支える「変化に強い経営基盤」を構築

中計2028のキーワード　挑戦　変革　成長

目指す姿（10年後）

目指す姿

リース会社から
大きな飛躍を遂げ、
お客さまと共に
未来を共創する
プラットフォーム
カンパニーへ

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

04 中期経営計画2028の基本方針

目指す姿 リース会社から大きな飛躍を遂げ、お客さまと共に未来を共創するプラットフォームカンパニーへ

中計2028テーマ 事業ポートフォリオの変革を加速すると共に、変化に強い経営基盤を構築し、未来の成長を確かなものにする

ビジネステーマ

- 社会的価値創出：サーキュラーエコノミー、経済安全保障、成長戦略投資、脱炭素、人手不足（AI、ロボティクス）等
- 経済的価値創出：ファイナンスに加えて「事業投資」を強化、収益力（ROA）を向上

戦略 「〈みずほ〉のプラットフォーム」と「丸紅のネットワーク」を最大限活用

事業ポートフォリオ変革

〈みずほ〉連携　丸紅連携

アセット有効活用	フィービジネス強化	国際事業拡大	ミドルマーケット（中堅・中小企業）の成長支援

変化に強い経営基盤の構築

人的資本強化	企業カルチャー変革	デジタルを活用した生産性向上	リスクマネジメント高度化

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

04 事業ポートフォリオの変革

- 本部毎に“サブポートフォリオ”を構成、時間軸が異なるビジネス毎に整理、最適配置によりビジネスモデルの進化と事業領域の拡大を実現

サブポートフォリオの構成 ビジネスモデルの進化 × 事業領域の拡大

	営業本部	不動産本部	環境エネルギー本部	国際事業本部	インベストメント本部
コア	国内リース ファイナンス	不動産 ファイナンス		既存現法	クレジット・エクイティ投資等 航空機・船舶ファイナンス
グロース	モビリティ・レンタル サーキュラーエコノミー ミドルマーケット	投資・開発	発電事業 環境価値、蓄電池	成長市場 • 米国 • インド • 豪州 等	海外インフラ JOLCO/JOL
フロンティア		共同投資/運営	アグリゲーション AM/O&M		アセットマネジメント

異なる時間軸

各領域のビジネスモデルの進化やインオーガニックの活用等により、新たな領域を開拓

〈みずほ〉との連携 （顧客基盤の更なる活用）	丸紅グループとの連携 （国内外のネットワーク）	アライアンスパートナーとの 連携深化	新規事業への取り組み ・スタートアップ連携　・新規事業探索（R&D）

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

04 中期経営計画2028：財務・非財務目標

- 財務目標　：持続的成長を可能とする財務基盤構築へ向け、新たに“自己資本比率”を追加
- 非財務目標：社会的課題解決貢献にフォーカスし、人的資本を軸とした目標を設定

財務目標

当期利益	ビジネス機会を捉え、当期利益の順調な増加を継続	**600億円**（2028年度）
ROA	収益性重視の取組継続、非金利・資産回転型ビジネス増強により向上	**1.7%以上**（2028年度）
ROE	成長投資の継続による利益成長により高水準を維持	**11%以上**（2028年度）
自己資本比率	持続的・安定的な成長を支える財務基盤を確立	**12%程度**（2028年度）

非財務目標

Carbon Neutral 脱炭素社会実現	Scope1,2 CO_2排出量削減※ ※ 単体及び国内連結子会社9社	カーボンニュートラル（2030年度）
Circular Economy 循環型経済実現	リユース・リサイクル率	98%以上維持（2026-28年度平均）
Human Capital 土台としての人的資本経営	戦略分野人財の拡充	2025年度比＋70名（2028年度）
	人財育成のための投資額	2倍以上（中計2025期間平均比，2026-28年度平均）
	女性管理職比率	18%（2028年度）

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 Appendix

1. 2026年度の主なリリース P.30
2. 連結財務諸表 P.32

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 2026年度の主なリリース（1）

決算期	リリース日	リリース内容	
1Q	2026/4/17	連結子会社エムエル・パワー（株）含む共同実証者5社が「24/7 対応型コーポレートPPA*」の提供に向けた実証に成功 – 金融･エネルギー･Deep Techスタートアップによる産業横断の共創でHourly Matching の有効性を検証	環境エネルギー
	2026/4/23	エムエル・パワー（株）が北陸電力グループ初参入の系統用蓄電池事業でプロジェクトマネジメントを担当 – 北陸電力（株）と富山県中新川郡舟橋村に「舟橋蓄電所（同）」を設立し、2027年4月の運転開始を目指す	環境エネルギー
	2026/5/7	エムエル・パワー（株）が森トラスト（株）にとって初参入となる系統用蓄電所事業に出資参画 – 滋賀県守山市における「琵琶湖蓄電所プロジェクト」に参画し、2027年下期の運転開始を目指す	環境エネルギー
	2026/5/14	自社株式を給付するインセンティブ・プラン「株式給付信託（J-ESOP）」制度を導入 – 一定の要件を満たす従業員に対して、経営参画意識と当社株価及び業績向上への意欲向上を企図	その他
	2026/5/14	（株）みずほフィナンシャルグループへ種類株式を第三者割当発行し、資本業務提携を継続 – 発行総額約461億円で財務基盤を拡充。一連の取引に伴い筆頭株主が異動するとともに、日鉄興和不動産（株）と資本業務提携契約を締結。なお、みずほFGの当社へのコミットメントは不変	その他
	2026/5/14	2029年3月期を最終年度とする「中期経営計画2028」を策定 – 「プラットフォームカンパニー」への飛躍を目指し、事業ポートフォリオの変革と経営基盤の強化を推進	その他
	2026/5/20	TREホールディングス（株）の株式取得を完了 – 株式譲渡契約に基づき普通株式を追加取得し、議決権所有割合は約10.08%に	サーキュラーエコノミー
	2026/5/27	シーメンスヘルスケア（株）と共同で社員向け「乳がん検診のギモンを解くセミナー」を開催 – 参加型の健康促進イベント等を通じ、社員の健康意識向上を企図（4年連続「健康経営優良法人」に認定）	サステナビリティ
	2026/6/26	連結子会社エムエル・ITAD ソリューション（株）がみずほ銀行の使用済みPC約4万台を国内で再資源化処理 – ITAD活用による情報セキュリティと資源循環の両立（みずほ銀行のサステナビリティ経営の一環）	サーキュラーエコノミー
	2026/6/30	連結子会社Mizuho RA Leasing Pvt. Ltd.の株式を追加取得 – 株式6.2%を追加取得し出資比率を93.8%へ引き上げ	インオーガニック

* 24時間365日、常にカーボンフリー電力を実現する、1時間単位での電力消費量と非化石電源価値を組み合わせた電源のマッチング（Hourly Matching）を行うコーポレートPPA。
将来のGHGプロトコル改定およびHourly Matchingの国内導入を見据えたソリューション

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 2026年度の主なリリース（2）

決算期	リリース日	リリース内容	
2Q	2026/7/1	第三者割当による種類株式発行の払込完了 – みずほFGへ発行総額約461億円で発行を完了	その他
	2026/8/3	連結子会社みずほオートリース(株)と(株)ホンダ二輪・新宿が自動車メンテナンスサービスの包括連携を開始 – 従来車両から１人乗小型EV等次世代モビリティまでの導入を支援する地域密着型サービス体制の構築を推進	EV・蓄電池
	2026/8/6	MM Capital Partners 2号(株)（丸紅系）と共にドイツにおける住宅用ルーフトップ太陽光発電事業に参画 – ポルトガルにおける再生可能エネルギー案件に続き、欧州再生可能エネルギー分野での協調投資を実施	環境エネルギー
	2026/8/12	(株)モスフードサービスと同社「社員独立制度」の店舗展開における店舗買取資金支援に関する業務協定契約を締結 – フランチャイズオーナー向け店舗買取資金の支援サービスをモスフードサービスに代わり当社が実行	ファイナンス
	2026/8/17	エムエル・パワー(株)が中国電力下松発電所跡地にて系統用蓄電池事業を展開（共同出資の特別目的会社を設立） – (株)中国電力、(株)中電工、(株)日本政策投資銀行と共に、再エネ調整力確保へ	環境エネルギー
	2026/8/31	新本社オフィスが第39回日経「ニューオフィス推進賞」「クリエイティブ・オフィス賞」を受賞 – 多様な交流と新たな価値創造を生み出す共創拠点として、空間の創意工夫と企業カルチャー変革の取組みを評価	その他
3Q	2026/11/2	連結子会社エムエル・エステート(株)が、自社ブランド「Malien」を冠する物流施設「LOGIFRONT名古屋みなとMalien」にオンサイト型PPA太陽光発電設備を導入 – 入居テナントである東急不動産(株)の脱炭素ニーズへ対応し、再生可能エネルギーの普及拡大に貢献	不動産・環境エネルギー

みずほリースの最新情報をメールでお届けします。登録はこちら▶
https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/ir/ir-9071253374733582531.html

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 連結B/S（資産）

（億円）	23/3末	24/3末	25/3末	26/3末	26/9末	前年度末比	前年度比増減率
流動資産	22,797	23,781	25,425	26,024	**26,196**	**+172**	**+1%**
現金及び預金	340	567	681	889	**1,450**	**+561**	**+63%**
リース投資資産等	11,222	10,507	10,410	10,082	**9,826**	**△256**	**△3%**
割賦債権	985	1,091	1,203	1,159	**1,074**	**△85**	**△7%**
営業貸付	6,617	7,338	7,779	8,051	**7,890**	**△161**	**△2%**
営業投資有価証券	3,227	3,637	4,396	4,778	**4,684**	**△94**	**△2%**
貸倒引当金	△10	△18	△23	△36	**△36**	**+0**	**-**
固定資産	6,750	9,853	13,555	15,728	**15,863**	**+135**	**+1%**
リース資産	3,783	5,398	8,154	8,447	**8,570**	**+123**	**+1%**
投資有価証券	2,406	3,064	3,772	4,953	**5,104**	**+151**	**+3%**
破産更生債権等	258	289	189	164	**87**	**△77**	**△47%**
貸倒引当金	△51	△58	△25	△23	**△23**	**△0**	**-**
資産合計	**29,546**	**33,633**	**38,981**	**41,753**	**42,059**	**+306**	**+1%**
営業資産 計	**25,801**	**28,589**	**32,819**	**33,999**	**33,467**	**△532**	**△2%**

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 連結B/S（負債・資本）

（億円）	23/3末	24/3末	25/3末	26/3末	26/9末	前年度末比	前年度比増減率
流動負債	15,735	17,152	19,919	19,865	**20,083**	**+218**	**+1%**
短期借入金	4,184	5,241	7,119	7,670	**7,891**	**+221**	**+3%**
一年以内償還社債	230	367	631	828	**585**	**△243**	**△29%**
一年以内返済長期借入金	2,490	3,281	3,603	3,818	**4,128**	**+310**	**+8%**
コマーシャル・ペーパー	6,929	6,554	6,626	5,493	**5,459**	**△34**	**△1%**
債権流動化に伴う支払債務	947	557	513	548	**386**	**△162**	**△30%**
固定負債	11,053	13,183	15,047	17,343	**16,763**	**△580**	**△3%**
長期借入金	7,477	8,332	9,590	11,883	**11,233**	**△650**	**△5%**
社債	2,807	3,667	4,233	4,132	**4,120**	**△12**	**△0%**
債権流動化に伴う長期支払債務	311	425	467	369	**399**	**+30**	**+8%**
負債合計	26,788	30,335	34,966	37,208	**36,846**	**△362**	**△1%**
純資産	2,758	3,298	4,015	4,545	**5,213**	**+668**	**+15%**
株主資本	2,299	2,572	3,270	3,634	**4,315**	**+681**	**+19%**
負債・純資産合計	**29,546**	**33,633**	**38,981**	**41,753**	**42,059**	**+306**	**+1%**
有利子負債 計	**25,376**	**28,424**	**32,781**	**34,741**	**34,201**	**△540**	**△2%**
自己資本比率	**8.9%**	**9.2%**	**9.8%**	**10.3%**	**12.0%**	**+1.7pt**	

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 連結P/L

(億円)	22年度 2Q	23年度 2Q	24年度 2Q	25年度 2Q	26年度 2Q	前年比	前年比増減率
売上高	2,288	2,718	2,984	4,306	**4,313**	**+7**	**+0%**
差引利益	361	426	538	585	**736**	**+151**	**+26%**
資金原価	46	80	118	159	**207**	**+48**	**+30%**
売上総利益	315	346	420	427	**529**	**+102**	**+24%**
販売費及び一般管理費	141	157	178	192	**224**	**+32**	**+16%**
人件費・物件費	136	152	169	184	**220**	**+36**	**+20%**
貸倒引当等	5	5	9	8	**4**	**△4**	**△53%**
営業利益	174	189	242	235	**305**	**+70**	**+30%**
営業外収益	55	84	133	152	**281**	**+129**	**+85%**
営業外費用	8	15	27	35	**54**	**+19**	**+53%**
経常利益	220	257	348	351	**532**	**+181**	**+51%**
特別利益	1	1	2	40	**10**	**△30**	**△75%**
特別損失	4	0	0	3	**0**	**△3**	**△95%**
税金等調整前中間純利益	218	258	349	388	**541**	**+153**	**+39%**
法人税等合計	55	70	76	92	**106**	**+14**	**+15%**
親会社株主に帰属する中間純利益	156	179	256	291	**426**	**+135**	**+47%**
差引利益率	**2.98%**	**3.20%**	**3.63%**	**3.56%**	**4.36%**	**+0.80pt**	
資金原価率	**0.38%**	**0.60%**	**0.80%**	**0.97%**	**1.23%**	**+0.26pt**	
ROE	**13.2%**	**12.9%**	**15.0%**	**14.8%**	**18.3%**	**+3.5pt**	

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 連結包括利益計算書

(億円)	22年度 2Q	23年度 2Q	24年度 2Q	25年度 2Q	26年度 2Q	前年比	前年比増減率
中間純利益	162	188	273	296	**436**	**+140**	**+47%**
その他有価証券評価差額金	52	39	△20	△1	**9**	**+10**	**-**
繰延ヘッジ損益	△22	△12	9	5	**32**	**+27**	**+497%**
為替換算調整勘定	175	95	71	△92	**49**	**+141**	**-**
退職給付に係る調整額	△0	△0	△0	5	**△1**	**△6**	**-**
持分法適用会社に対する持分相当額	11	41	13	1	**6**	**+5**	**+337%**
その他の包括利益合計	216	163	73	△81	**94**	**+175**	**-**
包括利益	378	351	346	215	**530**	**+315**	**+146%**

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 セグメント別差引利益

(億円)	22年度 2Q	23年度 2Q	24年度 2Q	25年度 2Q	26年度 2Q	前年比	前年比増減率
売上高	2,288	2,718	2,984	4,306	**4,313**	**+7**	**+0%**
リース・割賦	2,165	2,567	2,746	4,026	**3,927**	**△99**	**△2%**
ファイナンス	124	159	206	226	**270**	**+44**	**+19%**
その他	7	6	45	65	**126**	**+61**	**+95%**
消去又は全社	△8	△14	△13	△11	**△9**	**+2**	**-**
売上原価	1,927	2,292	2,446	3,721	**3,578**	**△143**	**△4%**
リース・割賦	1,924	2,288	2,417	3,674	**3,488**	**△186**	**△5%**
ファイナンス	1	1	2	2	**3**	**+1**	**+60%**
その他	4	3	29	46	**87**	**+41**	**+90%**
消去又は全社	△1	△1	△1	△1	**△1**	**+0**	**-**
差引利益	361	426	538	585	**736**	**+151**	**+26%**
リース・割賦	241	279	329	352	**439**	**+87**	**+24%**
ファイナンス	123	158	204	224	**267**	**+43**	**+19%**
その他	3	3	16	19	**39**	**+20**	**+106%**
消去又は全社	△7	△14	△11	△10	**△9**	**+1**	**-**

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

05 セグメント別契約実行高

リース・割賦セグメント

(億円)	24年度 2Q	25年度 2Q	26年度 2Q	前年比	前年比増減率
情報通信機器	782	729	**627**	**△102**	**△14%**
不動産	2,602	1,560	**1,878**	**+318**	**+20%**
産業・工作機械	417	433	**751**	**+318**	**+73%**
輸送用機器	232	200	**187**	**△13**	**△7%**
土木建設機械	111	68	**77**	**+9**	**+13%**
商業・サービス業用機器	140	135	**151**	**+16**	**+11%**
医療機器	63	63	**72**	**+9**	**+15%**
その他	261	394	**384**	**△10**	**△3%**
合計	4,608	3,582	**4,126**	**+544**	**+15%**

ファイナンス／その他セグメント

(億円)	24年度 2Q	25年度 2Q	26年度 2Q	前年比	前年比増減率
商流ファイナンス・融資等	2,749	4,670	**4,030**	**△640**	**△14%**
不動産	566	1,023	**588**	**△435**	**△42%**
船舶	41	111	**14**	**△97**	**△87%**
航空機	50	1	**4**	**+3**	**+188%**
その他	-	13	**6**	**△7**	**△56%**
合計	3,407	5,819	**4,642**	**△1,177**	**△20%**

© 2026 Mizuho Leasing Company, Ltd.

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

お問い合わせ先

みずほリース株式会社　財務企画部 IR室
TEL：03-5253-6560

本資料には現時点で入手している情報に基づき当社が判断した将来の予測数値が含まれておりますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、
その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。将来に関する事項については様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。